

飛行機に乗って、島から島へ出勤中

奄美群島で活躍中の島のお医者さんに、4回にわたってお話を伺います。

## 連載コラム 島のお医者さん ～日本最古の〇〇〇～

こんにちは、奄美群島で『島のお医者さん』として働いてますDr.ヒラッシーこと平島修と申します。島のお医者さんの、楽しさ、奮闘、そして飛行機を含めた移動手段と医療の関わりなど、医療と生活を身近に感じていただけるメッセージをお届けします。



撮影：平島先生

いきなりですが、みなさんに質問です！

- ①島根県、出雲大社に行ったことはありますか？
- ②写真の銅像を見たことがありますか？
- ③銅像は何だかわかりますか？

みなさんの中には、今まさに搭乗中の飛行機で出雲大社に向かっている方もいらっしゃるかもしれませんね。私は普段、鹿児島・奄美群島の移動でJACの飛行機を利用することが多いのですが、先日大阪から島根に行く機会があり、広い伊丹空港でJAC機に搭乗したときには安心した気持ちになりました。出雲大社は毎年旧暦10月（神在月・神無月）には全国から八百万神が集まる日本で最も有名な神社の1つで、神殿の大きなしめ縄が有名ですよね。神殿へ向かう参道の脇に目を向けると写真の銅像があります。ウサギが神様らしきヒトを見上げ、そのヒトは手を差し伸べようとしています。この銅像の正体こそが出雲大社の主祭神であり、日本最初のお医者さん大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）と呼ばれる神様なのです。日本最古の歴史書と言われる“古事記”のなかに「因幡の白ウサギ」という神話があります。大国主大神は兄神たちと因幡の姫神に会いに行く途中で、サメを騙して皮を剥がされたウサギに出会います。大国主大神は荷物持ちを任されていた兄神たちに遅れをとっていました。ウサギは先に出会った兄神たちに「海水で身体を洗い、風にあたるよう」と教えられ、その通り行くと皮膚は悪化してしまいました。遅れてきた大国主大神はかわいそうに思い、「淡水で洗い、がまの穂でからだをくるむよう」伝えたところ、ウサギの傷はみるみるよくなりました。

この神話は（たとえサメを騙したウサギでも）平等に医療を行うこと、正しい医療を行えば治癒する、という医療の本質・原点として今も伝えられています。

### 島のお医者さん 平島 修

(徳洲会奄美ブロック総合診療研修センター医師)

11年前に初めて奄美の医療・人の温かさに触れ、奄美群島での医療に取り組む決意をする。奄美大島・加計呂麻島・喜界島で診療をしつつ、全国の医学生・医師に「手あて」の重要性を伝える活動を行っている。



## ～表紙クイズの答え～

正解は…フランスです！



JACの新しい飛行機ATR42-600は、フランス南西部の街トゥールーズで製造された後、日本に向けて2017年1月21日に出発。給油の為にギリシャ、エジプト、ドバイ(UAE)、インド、タイ、台湾を経由し、5泊6日の長～い旅を経て2017年1月26日に鹿児島にやってきました。



翼が窓の上に付いているATRは、窓側であれば、どの座席からも美しい離島の景色を堪能することができます。

エジプト付近の上空からパシャリ。

早くみなさまに逢いたいな



ピカピカのATRとともにお客さまをお迎えできる日を社員一同、心よりお待ちしております！

鹿児島のシンボルである桜島にも挨拶をきちんと済ませ、雲一つない青空の下、無事に鹿児島空港に到着しました。

到着後は、万全の準備を行い、4月26日の初便就航を迎えることとなりました。



どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Vol.3

# JAC NOW

～ゆいタイム～



2017年1月26日 霧島連山を背景に、鹿児島空港にて

みなさまへ

本日も日本エアコミューター(JAC)にご搭乗くださいまして誠にありがとうございます。

さる1月26日、待望の新鋭機であるATR42-600（以下ATR）が鹿児島空港に到着し、4月26日より路線就航します。最初に就航する路線は、鹿児島＝屋久島線と鹿児島＝沖永良部線で、5月下旬からは更に鹿児島＝奄美線も加わる予定です。

JACでは、今後毎年3機程度のATRを順次導入し、2019年までに合計9機がJAC路線に就航する計画です。ATRの1号機と2号機には、特別塗装が施されています。機体後方両側にある就航地を表すハイビスカスの花を結ぶ線は、日本の伝統的な心「結い」を水引の形で表現しています。島々の文化にも根付くこの「結い」の精神のもと、たくさんのお客さまにJAC便、そしてこのATRにご搭乗いただき、地域の翼としてそこに暮らす人々の生活を守り、また同時に新たな人の訪れを増やすことを通じて地域創生に一層貢献していきたいと考えております。

これからもJACをよろしく願いたします。



© ATR BARTHE Pierre.

日本エアコミューター株式会社  
代表取締役社長 加藤 洋樹（前列右側）

クイズ： この飛行機は、どこから来たの？

（こたえは裏面へ。）

お手にとってください、ありがとうございます。

JACの今をお届けしようと、社員手作りの機内情報誌を2016年秋より発行しており、今回、第3回目の発行となりました。お客さまとつながるゆい“結い”の時間を、そして、地域航空として各地域を“結ぶ”情報をお届けしたいという想いを込め、ゆいタイムと名付けております。ふたつとない今日のこの空の上でのお客さまとの出会い。ゆい“唯”タイムを、『JACNOW～ゆいタイム～』を通じて、優しく心つながる時間として、お過ごしいただけましたら幸いです。

ご意見、ご感想、お気づきの点などございましたら、どうぞお気軽に、客室乗務員までお寄せください。

また、バックナンバー(vol.1&2)をご覧になりたい方も、どうぞお気軽に客室乗務員までお声掛けください。



奄美大島 大島海峡(©K.P.V.B)

本日のご搭乗誠にありがとうございます。経営企画部の福原です。今日は私の出身地の奄美についてご紹介します。

2017年3月7日に、国内で34か所目、鹿児島県内では4か所目となる国立公園、「奄美群島国立公園」が誕生しました。国内最大級の亜熱帯照葉樹林やサンゴ礁等の手つかずの自然や、アマミノクロウサギ・リリカケス等の希少な生態系、更には人が自然と共に生きていこうとする独特の文化も大きな魅力の一つです。

鹿児島から奄美群島へは、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島と個性溢れる5つの島々にそれぞれJACが直行便を運航しております。宝物がぎっしり詰まった奄美群島に是非とも足を運んでみてください！

経営企画部(奄美大島出身) 福原 弘之





